

令和5年第4回 清瀬市まちづくり委員会議事要旨

【開催日時等】

日時：令和5年4月25日（火）午後6時から8時まで

場所：清瀬市役所4階研修室

【出席委員】

関根委員長、竹内副委員長、朝倉委員、井澤委員、上村委員、有働委員、大森委員、菊谷委員、小寺委員、佐合委員、関委員、田鹿委員、花岡委員、早坂委員、前川委員、増田委員、望月委員、柳瀬委員、山村委員

事務局：企画部担当部長、市民協働課長、協働係係長、協働係主事

【配布資料】

【資料1】各グループのスケジュール

【資料2】小グループ審議のまとめ

【資料3】担当部署案件の流れ

【資料4】きよせまちフェス(1)

【資料5】各課への質問(再質問)と回答

【議事】

1 開会

2 事務局より

(1) 職員紹介

(2) 配布資料の確認

(3) 令和5年第3回議事要旨の確認

3 前回の振り返り

4 報告事項

(1) 運営委員会報告

副委員長より報告

(2) 担当部署案件になった提案の流れ

副会長より説明

担当部署への照会文書の様式を事務局が委員会後に各委員へ送付する。

(3) 新規提案 1件 提案No.30

(4) 傍聴者からの意見 なし

5 審議事項

小グループで最終確認後に審議した。

(1) 提案No.3

決議 賛成：19人 反対：0人 白票：0人 欠席：1人

結果 可決

(2) 提案No.12

決議 賛成：18人 反対：1人 白票：0人 欠席：1人

結果 可決

(3) 提案No.13

決議 賛成：19人 反対：0人 白票：0人 欠席：1人

結果 可決

(4) 提案No.15

決議 賛成：19人 反対：0人 白票：0人 欠席：1人

結果 可決

(5) 提案No.17

決議 賛成：19人 反対：0人 白票：0人 欠席：1人

結果 可決

(6) 提案No.18

決議 賛成：17人 反対：0人 白票：2人 欠席：1人

白票意見

①古民家の使い方を考え、せせらぎの家がどのような人たちに使われてきたかもう少し市民の声をきいてもいいと考える。

②古民家の使い方に関し、様々な世代が使えないのであれば、そのことにお金を使うことは考える必要がある

結果 可決

6 協議事項

(1) 提案No.19の取り扱いについて

副委員長からどのように審議する運営委員会で検討した内容を説明

<意見>

委員：基礎調査の前にまちづくり委員会として調査をすることは、担当部署と重複するのではないかと調整する必要がある。

委員：清瀬駅の再開発まで発展させることは提案者の意向なのか。まずは「モニユメントの水を止めている理由」等を回答すべきではないか。

再開発を取り上げるのであれば、審議した小グループ（Dグループ）の別提案とすべきではないか。

委員長：Dグループからどのように審議したのか報告を求める。

委員：モニュメントの水を止めている理由が明確であるなら、担当部署案件として回答すべきであると考えた。

しかし、提案の最後に高齢者の駅の利用について言及している。再開発について、方針がある程度決まった段階から市民参画が行われるのではなく、方針を決める最初の段階から市民の意見をきくきっかけになればよいと考えた。

【審議の方針】

①モニュメントの水が止まっていること等については担当部署案件として回答する。

②清瀬駅再開発については改めて協議する。

(2) きよせまちフェスについて

WSグループから説明

(3) グループワーク：グループの取り組み

ア 提案審議グループ

提案No.1・6・7・14をひとつにまとめたらどのような提案になるか検討した。その結果「M&A（ミュージック&アート）プロジェクト」という方向で検討を進めることとなった。

提案者がどのように考えているか意見を聞き、「M&Aプロジェクト」を立ち上げたときの参加の意向や熱意があるときはまちづくり委員会として後方支援をしても良いと考えている。

イ 条例審査グループ

提案No.について審議した。メンバーの意見がまとまらなかったため、次回も継続審議とする。

条例審査グループ以外の委員の考え方を知りたいため、アンケート調査を行う。

アンケート内容を事務局に送付し、事務局から各委員へ送付する。

ウ WSグループ

市民まつりにまちづくり委員会のブースを設け、アンケート調査を実施する方向で検討を進める。

アンケートの項目や、調査方法等を継続して検討する。

ひまわりフェスティバルには市外の方が来場するため、ひまわりフェスティバルでのアンケート調査ができないか併せて検討する。

7 次回開催

令和5年5月23日(火)午後6時～8時

清瀬市役所 研修室

8 閉会